

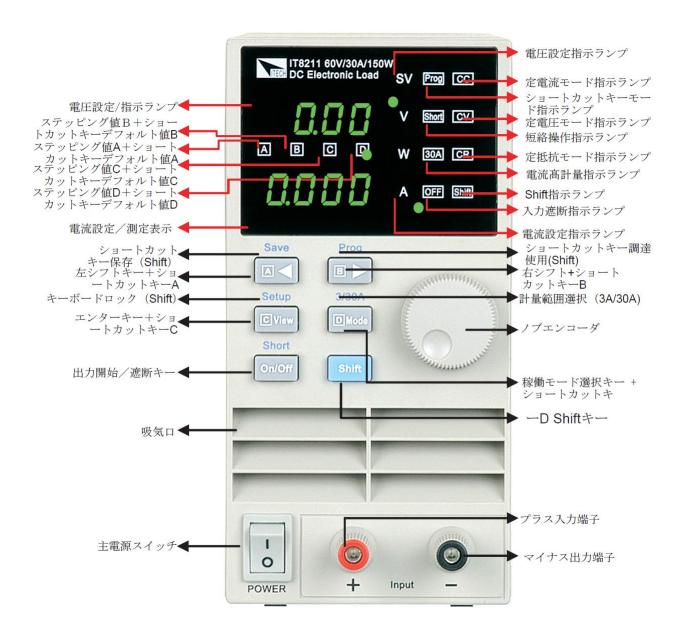
IT8211 直流電子負荷装置 簡易マニュアル

User's Manual Models IT8211

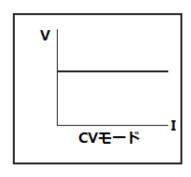


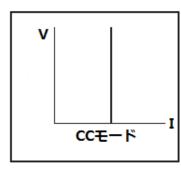
Copyright ©ITECH Electronics Co., Ltd.

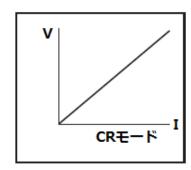
フロントパネル紹介



IT8211 はコンパクトサイズで経済的な価格の直流電子負荷装置です。入力範囲は $0\sim60V/0\sim30A/150W$ のワイドレンジタイプで、1mV (10mV) /1mA (10mA) の分解能を備え、定電流(CC)、定電圧(CV)、定抵抗(CR) の 3 種類の動作モードを持ち、さまざまな条件を設定して各種のテストを行うことができます。







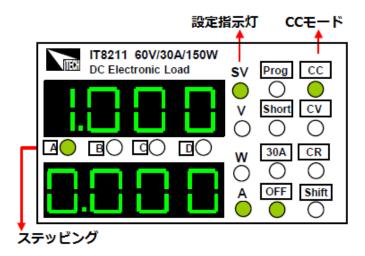
▲定電流設定(CCモード)

□Mode
キーを押し、指示灯 CC を点灯させる
と、定電流 (CC) モードになります。

■■ キーを押し、ステッビング Aを

点灯させると、回転ダイヤル で電流 1A の

On/Off キーを押し、OFF 消灯の場合に電子負荷入力 ON になります。



▲定電圧設定(CVモード)

DMode キーを押し、指示灯 CV を点灯させると、定電圧 (CV) モードになります。

■ キーを押し、ステッビング を

点灯させると、回転ダイヤル で電圧 1V の

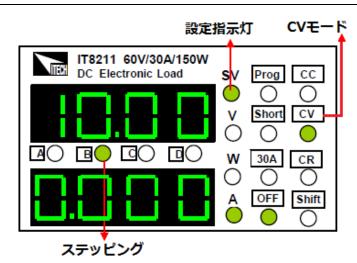
上昇/下降調整が可能です。(ステッビング :

0. 1V 調整可能、ステッビング : 0. 01V 調整

可能)(例:右図)

on/Off _{キーを押し、}OFF _{消灯の場合に電子負}

荷入力 ON になります。



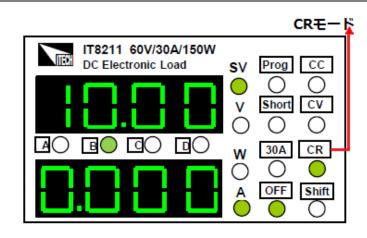
▲定抵抗設定(CRモード)

DMode キーを押し、指示灯 CR を点灯させると、定抵抗 (CR) モードになります。

■ キーと回転ダイヤル を利用 し、抵抗値が設定可能です。(例:右図)

on/Off キーを押し、OFF 消灯の場合に電子負

荷入力ONになります。



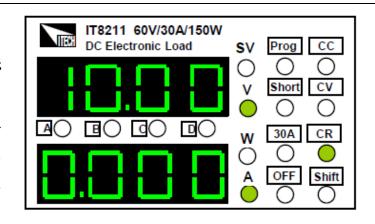
▲電子負荷入力 ON/OFF

On/Off キーを押し、 OFF 消灯の場合に電子負荷入力 ON になります。 OFF 点灯の場合には電子負荷入力 OFF になります。

▲表示切替機能

通常の操作モードで、実際の入力電圧/電流/抵抗値を表示します。(例:右図)

□View キーを押し、指示灯 SV と W が点灯させると、設定した電圧/電流/抵抗値を表示します。もう一回 □View キーを押し、実際入力値を表示します。



▲過電流保護設定(0CP 設定)

<mark>shift</mark>キーを押し、次に<mark>CView</mark>(setup)キーを

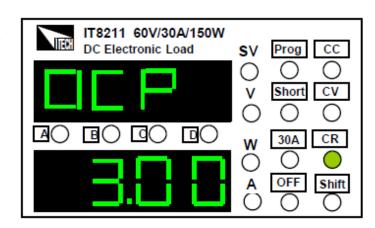
を押すと、OCP設定画面に入ります。(右図)

で OCP 電流値を設定できます。

(右図: 0CP 設定=3A)

<mark>注:</mark>実際入力電流値は OCP 設定値より大きくなると 電子負荷 OFF になります。

出荷設定值 OCP=30A

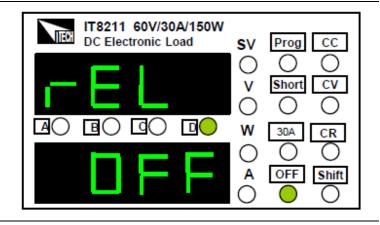


▲リアルタイム表示設定(REL)

OCP 設定後、 **(IView)** キーを押すと、REL 設定

画面に入ります。この時に回転ダイヤル で REL の ON/OFF を設定できます。

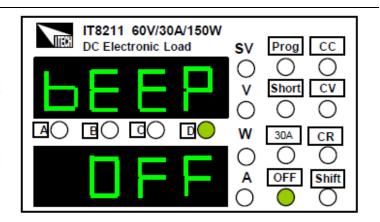
(右図 0FF の場合にリアルタイムを表示しません)



▲キー音 ON/OFF 設定 (BEEP 設定)

REL 設定後、 **C View** キーを押すと、BEEP 設 定画面に入ります。(右図)

この時に回転ダイヤル で音の ON/OFF を設 定できます。

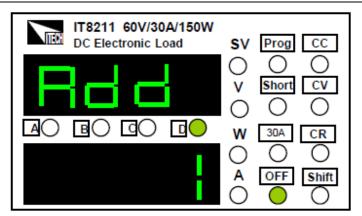


▲電子負荷アドレス設定(ADD)

BEEP 設定後、 **C View** キーを押すと、アドレス設定画面に入ります。(右図)

この時に回せ 国トキーと回転ダイヤル

でアドレス設定できます。(設定範囲:0~31)



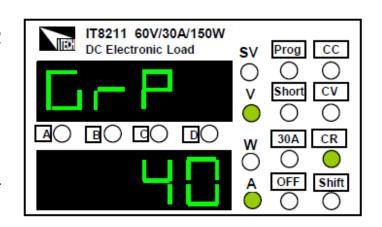
▲ショートグループ設定 (GRP)

ADD 設定後、 **Coview** キーを押すと、GRP 設定 画面に入ります。(右図)

この時に B キーと回転ダイヤル で GRP 設定できます。

設定後、 **C View** キーを押し、Setup 設定を終了します。通常モード画面に戻ります。 注: IT8211 は 40 ショートグループを設定できます。

<mark>注:</mark>IT8211 は 40 ショートグループを設定できます。 毎グループに A/B/C/D 四つの設定値があります。



▲ショートカットキー設定

保存したいショートグループを選定してから、通常の操作モード画面で保存したい電圧値と電流値を設定してから、Shift キーを押し、次に (Save)キーを押すと、指示灯 A B C D が一緒に点滅します。この時にいずれかの A B D O D Mode キーを押すと、先ほど設定した電圧値と電流値をいずれかの A B D O D Mode キーに保存できます。

▲ショートカットキー使用方法

呼出したいショートグループを選択してから、通常の操作モード画面で Shift キーを押し、次に (Prog) キーを押すと、 Prog 指示灯が点灯します。この時にいずれかの Mall DMode キーを押すと、保存した電圧値と電流値が呼び出せます。

きます。ショートカットキー使用中止の場合に、 Shift キーを押し、次に IProg)キーを押すと、 Prog 指示灯が消灯します。通常の操作モードに戻ります。

▲高/低電流レンジ切替方法 (3A/30A)

IT8211 直流電子負荷装置は低電流レンジ (3A) と高電流レンジ (30A) があります。 Shift キーを押し、次に DMode (3/30A) キーを押すと、 30A 指示灯が点灯します。この時に電流レンジは 0~30A 以内で設定できます。もう一回 Shift キーを押し、次に DMode (3/30A) キーを押すと、 30A 指示灯が消灯します。この時に電流レンジは 0~3A 以内で設定できます。

高電流レンジ (0~30A) 分解能: 10mA 低電流レンジ (0~3A) 分解能: 1mA

▲短絡(ショート)模擬機能

IT8211 直流電子負荷装置の入力側は短絡模擬可能です。 Shift + On/Off (Short) キーを押し、 Short

指示灯が点灯します。この時に電子負荷が短絡状態になります。また shift + owoff (Short) キーを押すと、通常の操作モードに戻ります。

電子負荷短絡模擬機能 ON の場合に、実際電流値は電子負荷の動作モード及び電流レンジによって変わります。CC/CR モードの時に最大短絡電流値は電流範囲の 1.2 倍になります。CV モードの時に OV 設定と同じです。

▲設定した電圧値/電流値/抵抗値の確認とリセット

IT8211 直流電子負荷装置は通常は実際入力電圧値と電流値を表示します。設定値の確認とリセットをしたい場合に、回転ダイヤル 、

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

指示灯 SV が点灯します。この時に電圧/電流/抵抗の設定値を点滅します。

マル を利用して、電圧/電流/抵抗の設定値をリセットできます。3 秒間点滅してから、無操作の場合に実際入力電圧値/電流値を自動的に表示します。

▲電子負荷が入力できない場合の検査

- 1:設定した電圧値と電流値は 0 かどうかを確認し、0 の場合に電圧値と電流値をリセットしてください。
- 2: OFF が点灯しているかどうかを確認し、点灯の場合に電子負荷入力 OFF になります。
- 3: OCP 保護を発生したかどうかを確認し、OCP 値を再設定してください。

パラメータ		IT8211	
入力定格 (0~40℃)	電圧	0~60V	
	電流	1mA~30A	
	電力	150W	
	範囲	精度	分解能
電子負荷精度	0~10V	± (0. 05%+0. 1%FS)	1mV
	0~60V	± (0. 05%+0. 1%FS)	1 OmV
	0~3A	± (0. 1%+0. 1%FS)	1mA
	0~30A	± (0. 1%+0. 15%FS)	1 OmA
CVモード	0.1~60V	± (0. 05%+0. 1%FS)	1 OmV
パーチ 20	0~3A	± (0. 1%+0. 1%FS)	1mA
	0~30A	± (0. 1%+0. 15%FS)	10mA
CR モード (input voltage>=10%full range、 input current >=10%full range)	0.1∼10Ω	± (1%+0. 8%FS)	0. 001 Ω
	10∼99Ω	± (1%+0. 8%FS)	0. 01 Ω
	100∼999Ω	± (1%+0. 8%FS)	0.1Ω
	1K∼4KΩ	± (1%+0. 8%FS)	1Ω
	0~3A	± (0. 1%+0. 1%FS)	1mA
電流測定	0~30A	± (0. 1%+0. 15%FS)	1 OmA
電圧測定	0~10V	± (0. 05%+0. 1%FS)	1mV
	0~60V	± (0. 05%+0. 1%FS)	10mV
電力測定 (input voltage >=10%full range、 Input current >=10%full range)	0~10W	± (1%+0. 5%FS)	1mW
	0~99W	± (1%+0. 5%FS)	1 OmW
	100~150W	± (1%+0. 5%F\$)	100mW





www.itechate.com